

広島みらいづくり2011

立候補予定者マニフェスト型公開討論会

次第(案)

1. 開会挨拶 社団法人広島青年会議所理事長挨拶
2. 公開討論会趣旨説明
3. 注意事項説明
4. パネリスト入場
5. マニフェスト型公開討論会
6. 閉会挨拶

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク中国代表

広島みらいづくり 2011

～いっしょに、考えよう広島の未来～

開催趣意書

人口減少、長期不況、国政の混迷の中で、地域政党の全国的な登場など政党の分権化ともいうべき新しい地方政治の動きを背景に、統一地方選が行われます。広島市長選は12年ぶりに、117万都市の新しいリーダーを選択する選挙です。

この時にあたり、われわれローカル・マニフェスト推進ネットワーク中国と社団法人広島青年会議所は「広島みらいづくり2011～いっしょに、考えよう広島の未来～」として、立候補予定者のマニフェスト型公開討論会を共催で開くことにしました。

今回の統一地方選は、2003年に日本に初めてマニフェストが登場して以来、3度目の統一選となります。マニフェストは全国に広がり、国政選挙でも首長選挙でも標準装備といわれるようになりました。

しかし、マニフェストへの国民の信頼は低下しています。とはいえ、分権時代の今日、広島市民が選んだ市長が広島市の個性を生かす市政の方向を示せるようになりました。立候補予定者はその方向を広島市民の前に明確に示し、選択基準を明らかにすることが求められます。長期低迷を抜け出すには政策しかない、と確信しています。それがローカル・マニフェストです。達成目標や達成期限、財源まで慎重に目配りした市民に説得力のあるローカル・マニフェストが求められています。

こうした考えに立ち、われわれは広島市長選を「新たな広島市の未来創造が始まる2011年」と位置付け、立候補予定者をパネリストとして招き、「広島みらいづくり」について論戦を企画しました。多数の市民のご参加を願っております。

2011年3月吉日

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク中国
社団法人 広島青年会議所

ご来場の皆様へのお願い

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク

社団法人広島青年会議所

ご来場の皆様には、次の事項をお守りくださいますようお願いいたします。

1. 立候補予定者(パネリスト)の発言を妨げるような言動(ヤジ・私語など)はおやめください。
2. 開会時、閉会時及び司会者が促した時以外の拍手はおやめください。
3. 会場周辺や会場内での特定のパネリストのポスター・ビラ・パンフレットなどの配布や貼り付けをいたしませんで下さい。
4. 聴衆者からパネリストへの直接の質問はできません。
5. 会場内への危険物の持ち込みはしないで下さい。
6. 許可した場合を除いて、ホール内での写真・ビデオなどの撮影・録音は一切行わないで下さい。
7. 携帯電話などのスイッチは予めお切りになるか、もしくはマナーモードに設定ください。

上記のことを守っていただかず、主催者が討論会の運営に支障が生じると判断した場合には、退場をお願いすることがありますことを予めご承知願います。

コーディネーター吉川 富夫氏プロフィール

吉川 富夫（よしかわ とみお）

広島県立大学経営情報学部教授（2005 年 4 月 1 日～今日）

- (1) 1948年生
- (2) 経歴：経済企画庁、東京都庁、財団法人東京市政調査会
- (3) 大学での担当科目：公共経営学、公共経済学、公共政策
- (4) 東京大学経済学部卒、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了
- (5) マニフェスト関連の著作
 - ・「ガバナンス概念にかかる理論的・歴史的考察」『県立広島大学経済学部論集』NO.3 pp.83-106, 2011.2
 - ・「マニフェストから見た『地域主権』と『市場経済原理主義』」都政研究社『都政研究』通巻 492、pp.4-9, 2009.9
 - ・「行政評価の有効性―その普及・浸透への道標―」中国地方総合研究センター『中国総研』 /通巻 36 号, pp. 1-8 2006. 9
 - ・「ローカル・マニフェストと戦略計画」地方自治総合研究所『自治総研』 通巻 316 号, pp. 18-40 2005. 2
 - ・「ベンチマーキングによる安全・安心の管理」『都市問題』通巻 93 巻 12 号, pp90-110, 2002.12
- (6) t-yoshi@pu-hiroshima.ac.jp